



スポットライト

S4-419・426・436・450・405・410 取扱説明書

Spotlight Manual

この度は松村電機の製品をお買い上げいただき、

誠にありがとうございます。

末長く安全にご愛用いただくために、

取付・設置およびご使用前には、

必ず取扱説明書をお読みください。

お読みいただいた後は大切に保管し、

必要なときに活用してください。



S4-419



S4-410



S4-405

株式会社 松村電機製作所

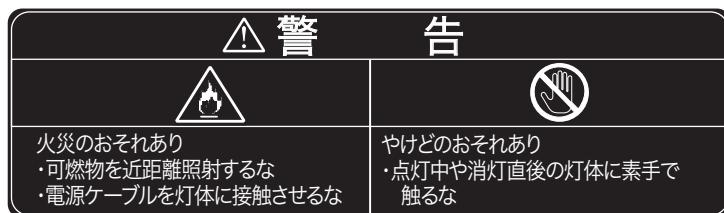
もくじ

表紙	1
警告表示内容の説明	2
本体表示銘板と表示内容	3
取扱いの注意事項	4
ご使用方法	
各部の名称	7
電球の取付け	7
電球調整	8
ピント調整	8
カラーフィルタの装着	8
ハンガーの取付	9
器具のパイプへの取付け	9
スタンドへの取付け	9
アームの調整	9
ショートアームへの取替え	10
パターンホルダの使用	10
アイリスシャッタの取付け	10
照射面の角度調整	10
外形寸法	10
照度データ	10
点検と修理	11
仕様	12
弊社連絡先	12

《警告表示内容の説明》

照明器具の本体に警告表示をしています。取扱うときには、警告表示内容をよくご理解のうえ安全にご使用ください。

製品本体への警告表示の例



—— シグナル用語区画

—— 絵表示区画

—— 指示文区画

《警告表示の注意喚起シンボルとシグナル用語》

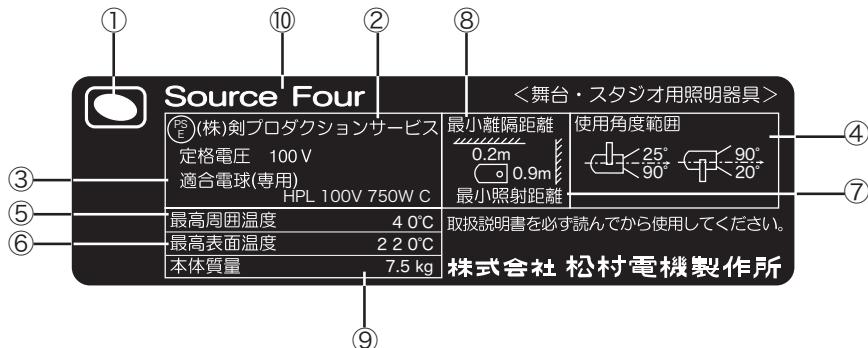
警告表示の注意喚起シンボルとシグナル用語の意味

⚠ 警告 —— 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。

⚠ 注意 —— 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

《本体表示銘板と表示内容》

照明器具の本体に下記の銘板を表示しています。
取扱うときには、銘板の表示内容をよくご理解のうえ安全にご使用ください。



- ① 用途表示 : 「演出空間用照明器具」であることを表示しています。
- ② 法定表示 : 電気用品安全法の規定による「製造事業者名」「定格電圧」「電球の定格消費電力」「(P)マーク」を表示しています。
- ③ 適合電球 : 適合電球を表示しています。指定された電球を必ずご使用ください。
- ④ 使用角度範囲 : 基準方向（光軸水平方向）に対する使用角度の範囲を表示しています。
図示された範囲内でご使用ください。
- ⑤ 最高周囲温度 : 通常の使用状態のもとで、連続動作させてもよい周囲温度の最高値を表示しています。
- ⑥ 最高表面温度 : 使用角度範囲内において、連続点灯したときの外面温度の最高値を表示しています。
- ⑦ 最小照射距離 : 器具と被照射対象物との間の最小距離を表示しています。
- ⑧ 最小離隔距離 : 器具周辺と可燃物との間の最小距離を表示しています。
- ⑨ 本体質量 : 器具本体（ランプを含む）の質量を表示しています。（ハンガー、その他の付属品は含みません）
- ⑩ 型名 : モデル番号（型番）または名称を表示しています。

《取扱上の注意事項》

警 告



- 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。
一般用照明器具として使用する製品ではありません。



- 器具の本体質量に見合った取付金具を使用してください。
取付金具の選定を間違うと落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定距離より近すぎると、火災の原因となります。



- 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。



- 器具の使用角度に制限のある器具があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。使用角度範囲を超えると、器具の破損、電球の破裂の原因となります。



- 器具の取付（設置）時は、電源ケーブルを器具本体に接触しないように取付けてください。
接触していると火災の原因になります。



- 器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。



- フィルタホルダ枠の押さえ金具を確実に止めてください。
押さえ金具を確実に止めないと、フィルタホルダが落下し、物的損害・けがの原因となります。



- フィルタホルダは、適合品を使用してください。
フィルタホルダの破損・変形したものを使用すると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具を分解したり改造しないでください。故障・感電・火災の原因となります。



- 煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると火災・感電の原因となります。



- 異常と思われるときはすぐにプラグを抜き、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理を依頼してください。



- 落下防止ワイヤを必ず器具のアームに潜らせて受金具に掛けてください。
確実に取付けないと取付金具の破損により装置が落下し、物的損害・けがの原因となります。



- ダボ締結ナットは緩みがないか日常保守点検してください。
確実に取付けないと取付金具の破損により装置が落下し、物的損害・けがの原因となります。

注意

1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。屋外で使用しないでください。
屋外で使用すると、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災とランプの破裂の原因となることがあります。
- 湿気や水気のあるところで使用しないでください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。
- 電球は、指定された電球を使用してください。
指定以外（適合しない）の電球を使用すると、器具の破損・電球の破裂の原因となります。

2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違の原因となるおそれがあります。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。
未熟練者だけでの対応は、間違の原因になるおそれがあります。
- 器具の取付・設置に方向性のある器具があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。指定以外の取付けを行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付（設置）には、器具本体の落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。
- 器具のフィルタホルダ枠にカラーチェンジ等の付属品を装着する場合は、フィルタホルダ枠の許容荷重に見合った付属品を使用してください。
不適正な付属品の使用は、器具本体の破損、付属品の落下による物的損害・けがの原因になります。

3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違の原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。
- 電球の取扱いは、電球の取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 電球の装着は、電球ソケットに確実に装着してください。
確実に装着されないと電球・電球ソケットの破損の原因となります。

4. 使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違の原因となるおそれがあります。
- 器具の取付に方向性のあるものがあります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付（設置）には、器具本体の落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。
- 器具のフィルタホルダ枠にカラーチェンジ等の付属品を装着する場合は、フィルタホルダ枠の許容荷重に見合った付属品を使用してください。
不適正な付属品の使用は、器具本体の破損、付属品の落下による物的損害・けがの原因になります。

注意

- 器具の安全シールド（レンズ、保護アミ等）を取外して使用しないでください。
電球の破裂などにより破片等が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 紙フィルタホルダは、適合品を使用し位置ずれに注意してください。
位置ずれがあると火災の原因となります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

5.保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずしている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
- 器具の点検(整備)は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電球交換、部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電することがあります。
- レンズの着脱は、取扱説明書に従って行ってください。
正しく着脱を行わないと、レンズの破損、落下によるけがの原因となります。
- 電源ケーブル、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずしている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。感電・火災の原因となることがあります。
- 安全シールドに亀裂がないか日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずしている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
電球の破裂などにより破片が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 冷却ファン付器具は、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。
器具の故障・火災原因となります。
- 電球ソケット、リフレクタは点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずしている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。感電・故障の原因となることがあります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。
レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は、振動で緩む場合があります。取扱説明書に基づき処置をしてください。
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まつたままで使用しないで、清掃してください。火災の原因となります。
- 電球の取扱いは、電球の取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 電球は指定された電球を使用してください。
指定以外（適合しない）の電球を使用すると、器具の破損・電球の破裂の原因となります。
- 電球の装着は、電球ソケットに確実に装着してください。
確実に装着されないと電球・電球ソケットの破損の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
器具の機能劣化・感電・火災の原因となります。

6.保管時について

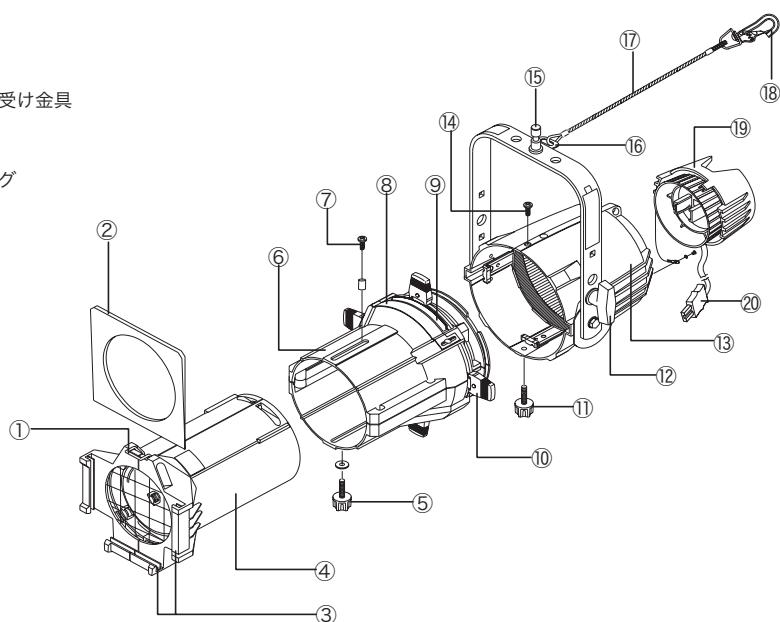
- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。
故障・絶縁不良の原因となります。
- 安全シールドに損傷を与えないように保管してください。
安全シールドの効力をなくす原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。
感電・火災の原因となるおそれがあります。

《ご使用方法》

各部の名称

- ① フィルタホルダクリップ
- ② フィルタホルダ
- ③ フィルタホルダ枠
- ④ レンズチューブ
- ⑤ ビームフォーカスノブ
- ⑥ 回転バ렐
- ⑦ レンズチューブ外れ止めビス
- ⑧ アイリススロット
- ⑨ パターンホルダスロット
- ⑩ カッター
- ⑪ 回転バ렐ノブ
- ⑫ アーム締付ハンドル
- ⑬ リフレクタハウジング
- ⑭ 回転バ렐外れ止めビス
- ⑮ 17φダボ

- ⑯ スナップフック受け金具
- ⑰ 落下防止ワイヤ
- ⑱ スナップフック
- ⑲ ランプハウジング
- ⑳ C型20Aプラグ



- 初めて器具を点灯するときに、発煙・発臭を伴うことがあります。

発煙がおさまるまで点灯し、解消してください。

■電球の取付け

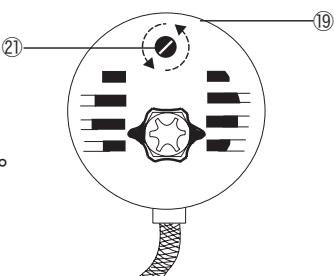
- 電球を取付けるときは、感電防止のためプラグを抜いてください。

- 器具の適合電球をご使用ください。

- 電球の取扱いはバルブの失透を防ぐため、きれいな手袋などを使用してください。

バルブに素手で触れた場合は、アルコール等できれいに拭き取ってください。

- 消灯直後の電球は熱いので、充分に冷めてから交換してください。

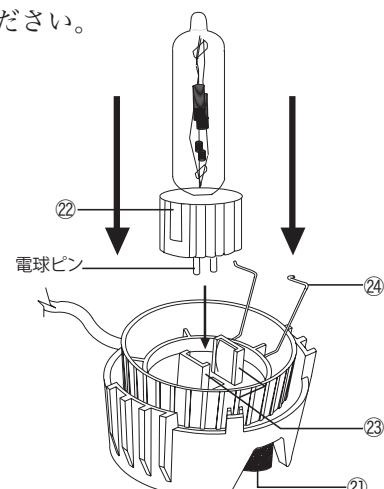
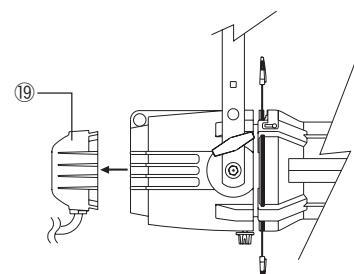


1) ランプハウジング⑯上部のランプハウジングボルト⑰を
反時計回りにまわしてゆるめて、ランプハウジング⑯を
まっすぐに取り外してください。

2) 必ず電球のヒートシンク部⑰を持って、ヒートシンク底部の
平面を電球ソケットのブラケット⑲に合わせます。

3) 電球のヒートシンク⑰の上面とブラケット⑲の上端がそろうまで
しっかりと下に押し込み、さらに電球クリップ⑳にて電球をロックしてください。

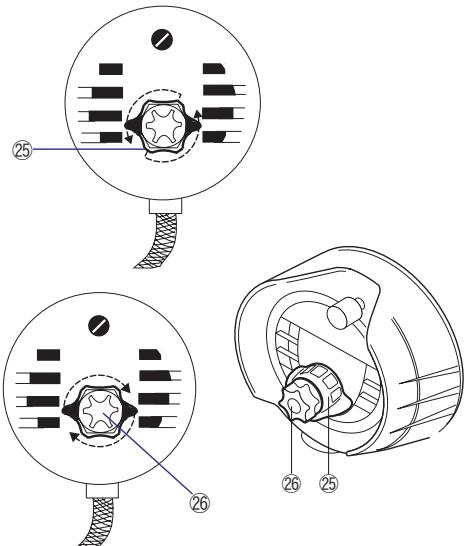
4) 電球の装着を確認して、電球の装着を確認して、
ランプハウジングボルト⑰を時計回りにまわしてしっかりと固定します。



■電球調整

●電球調整はカッターを全て開いた状態で行ってください。

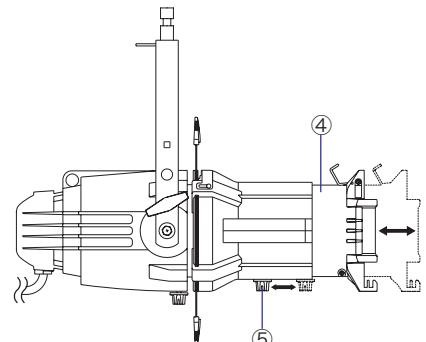
- 1) プラグをコンセントに接続し、点灯させて壁面などへ照射します
- 2) 位置調整ノブ②を反時計回りにまわしてロックを解除します。
- 3) 照射面を見ながら電球がフィールドの中心に来るまで、位置調整ノブ②を上下左右にゆっくり動かします。
- 4) 電球の位置が決まったら、位置調整ノブ②を時計回りに締め付けて、しっかりと固定してください。
- 5) 照射面が均一になるようにフラット調整ノブ⑥を時計回りに回して、最適なフィールドに調整します。



■ピント調整

●ピント調整はカッターを全て開いた状態で行ってください。

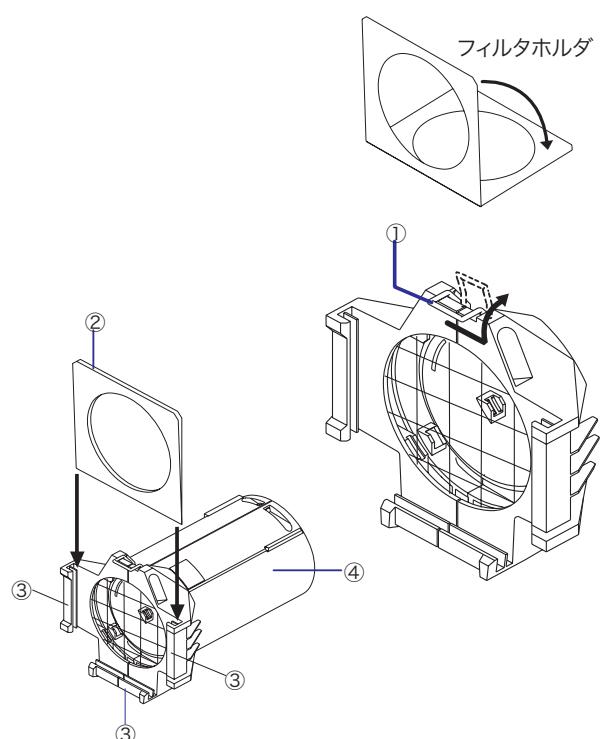
- 1) 電球調整と同様に、壁面へ照射します。
- 2) ビームフォーカスノブ⑤を反時計回りに回してゆるめます。
- 3) ビームフォーカスノブ⑤をつまんでレンズチューブ④を前後に移動して、適正なビームエッジに合わせます。ソフトフォーカスは、レンズチューブ④を前に動かして調整します。
- 4) ピントが決まったら、ビームフォーカスノブ⑤を時計回りに回してしっかりと締め付け、固定してください。



■カラーフィルタの装着

●難燃性のカラーフィルタをご使用ください。
●カラーフィルタはご使用により、退色（色抜け）あるいは、変色します。
(器具の種類により退色・変色 の時間に差があります。)

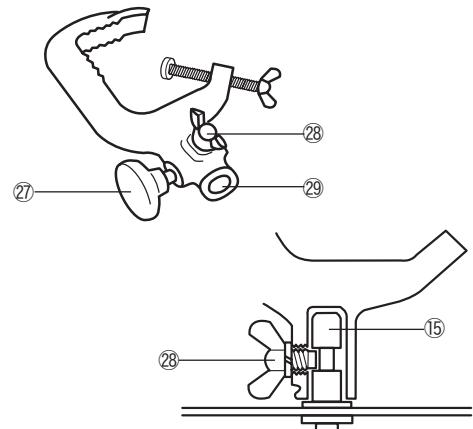
- 1) 使用するカラーフィルタをフィルタホルダ②のサイズに合わせ、カッターなどで切ります。
- 2) フィルタホルダ②を両手で持って広げ、カラーフィルタを挟み、しっかりと閉じてください。
- 3) フィルタホルダクリップ①を横にずらして、ロックを外し、上側に開いてください。
- 4) フィルタホルダ②をフィルタホルダ枠③上部より差し込み、装着します。
- 5) フィルタホルダクリップ①を横にずらしながら下側におろしロックしてください。



■ハンガーの取付け

●照射方向を変える場合は、決して落下防止蝶ボルト②をゆるめないでください。

- 1) ダボ固定ハンドル②と落下防止蝶ボルト②を反時計回りにまわしてゆるめます。
- 2) ハンガーのダボ受け穴②がダボ⑤見えなくなるまで差し込みます。
- 3) 落下防止蝶ボルト②を、スプリングワッシャが平らになるまで時計回りにまわします。ハンガーを持ち、「落下防止が働いている」ことを確認します。
- 4) ダボ固定ハンドルを時計回りにまわして、ダボ⑤を固定します。



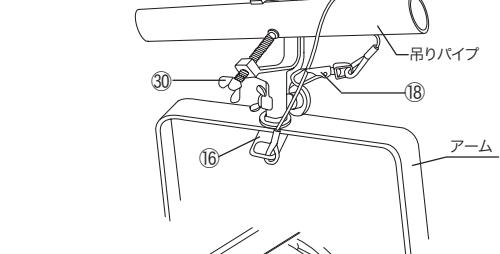
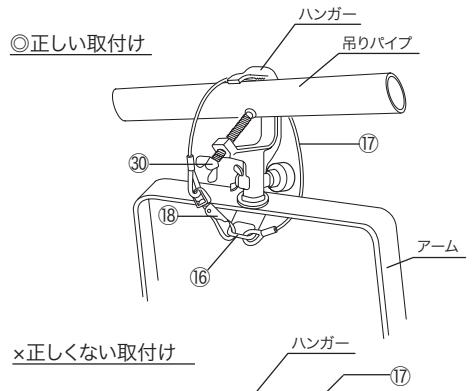
■器具のパイプへの取付け

- 1) ハンガーのハンガー固定蝶ボルト③を反時計回りに回しゆるめ、パイプに取付ける幅をとります。
- 2) ハンガーを吊りパイプに取付け、ハンガー固定蝶ボルト③を時計回りにまわしてしっかりと固定します。
- 3) 器具の落下防止ワイヤ⑦をアームに潜らせ、吊パイプにかけて(正しい取付け図参照)、スナップフック⑧をスナップフック受金具⑯に確実に取付けます。

※スナップフック⑧を落下防止ワイヤ⑦に掛けないでください。

△ 注意

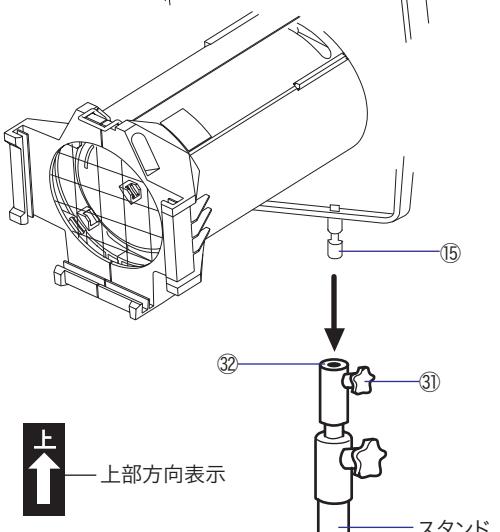
一度器具が落下し、ワイヤが機能を果たした場合は、必ずその落下防止ワイヤ及びスナップフック受け金具は交換してください。屈曲や素線断線等、ワイヤに異常がある場合も交換してください。



■スタンドへの取付け

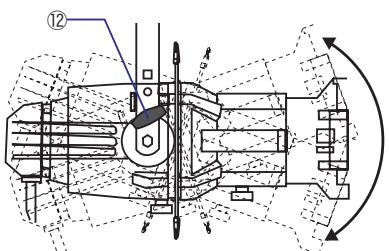
●スタンドは、平らな所でご使用ください。

- 1) ダボ固定ハンドル③を反時計回りにまわして、ダボ受け穴③にダボ⑤が入るようゆるめます。
- 2) ダボ⑤をダボ受け穴③に、見えなくなるまで差し込みます。
- 3) ダボ固定ハンドル③を時計回りにまわして、固定します。
- 4) 器具の銘板の上部方向表示に従い器具をセットします。



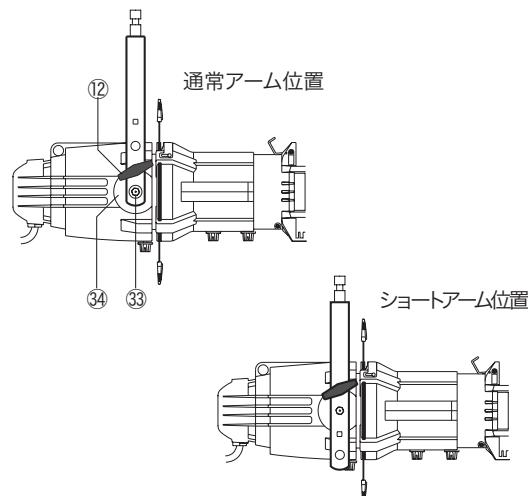
■アームの調整

- 1) 照射方向を変える場合、アーム締付ハンドル⑫をゆるめ、本体を動かして、方向を調整します。
- 2) 照射方向が決まったら、アーム締付ハンドル⑫をしめてしっかりと固定してください。



■ショートアームへの取替え

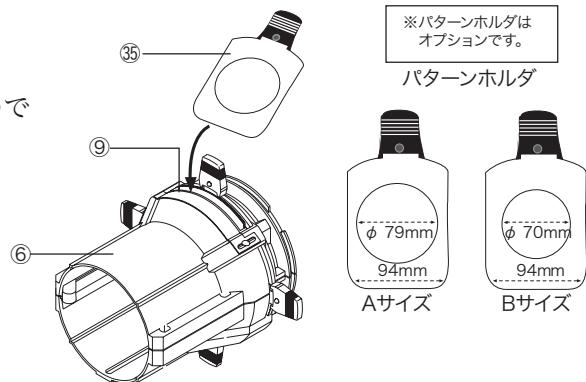
- 1) アーム位置を変える場合、アーム締付ハンドル⑫をゆるめるとアーム締付ハンドル⑫と四角ボルトが外れます。
- 2) さらに、両側の六角ボルト⑬をゆるめると、六角ボルト⑬とクラッチディスク⑭が外れます。
- 3) ショートアームにするのに適した位置に六角ボルト⑬とクラッチディスクを元通りに差し込み、四角ボルトとアーム締付ハンドル⑫でしっかりと固定してください。



■パターンホルダの使用

- パターンは、オプションのAサイズ、Bサイズ、およびガラスパターン用をお使いください。
- パターンホルダは必ず手袋をしてお取扱いください。

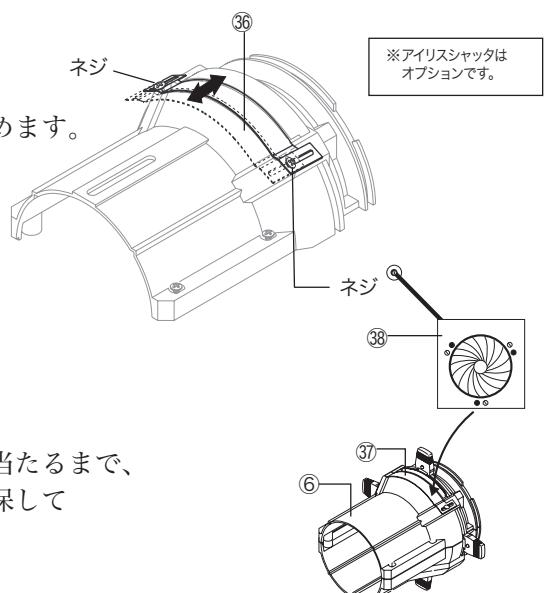
- 1) パターンをパターンホルダ⑮に取付けます。
映像は電球側から見たパターンの、上下左右が逆になるのでパターンの向きを確認して取付けてください。
- 2) 回転バレル⑥上部のパターンホルダスロット⑨にパターンホルダ⑮を差し込みます。
- 3) 点灯して映像を照射し、ピント調整を行ってください。



■アイリスシャッタの取付け

- アイリススロット未使用時には、アイリススロットカバーを必ずネジでしっかりと固定してください。
光の漏れの原因となります。
- アイリススロットカバーのネジは取り外さないでください。

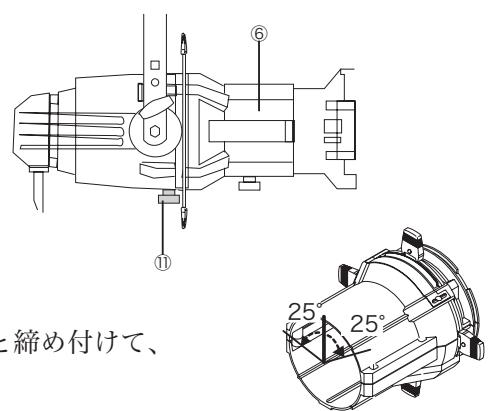
- 1) 回転バレル⑥上部のアイリススロットカバー⑬のネジをゆるめます。
- 2) アイリススロットカバーを完全に前方にずらして、アイリススロット⑭にアイリスシャッタ⑮を挿入します。
- 3) アイリスシャッタ⑮を取り付ける場合、
平らな面がカッター側で、アイリスシャッタ⑮のハンドルがスロットの外に出でているのを確認してください。
- 4) アイリススロットカバーをアイリスシャッタ⑮のハンドルに当たるまで、
カッター方向にもどし、ハンドルが動かせる程度の空間を確保して
ネジをしっかりと締付けてください。



■照射面の角度調整

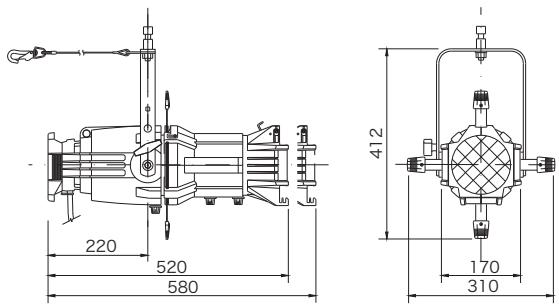
- 回転バレルノブは取り外さないでください。

- 1) リフレクタハウジング下面の回転バレルノブ⑪をゆるめます。
- 2) 回転バレル⑥を調整します。
中央位置からいずれの方向にも最高25°までです。
- 3) 回転バレル⑥の位置が決まったら、回転バレルノブ⑪をしっかりと締め付けて、
ロックしてください。

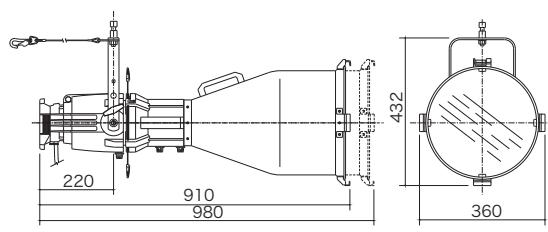


《外形寸法》

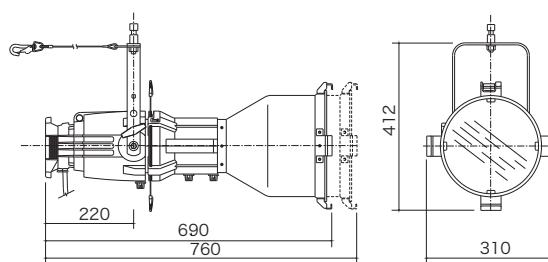
(单位: mm)



S4-419・426・436・450



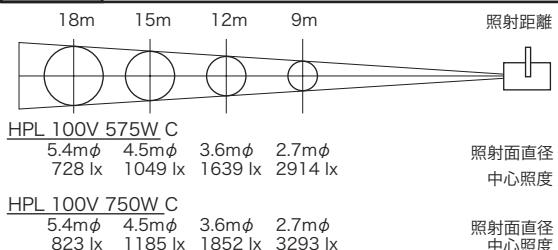
S4-405



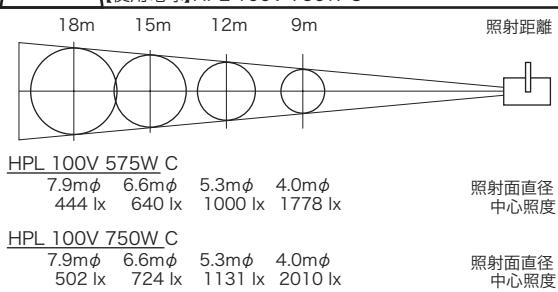
S4-410

《照度データ》

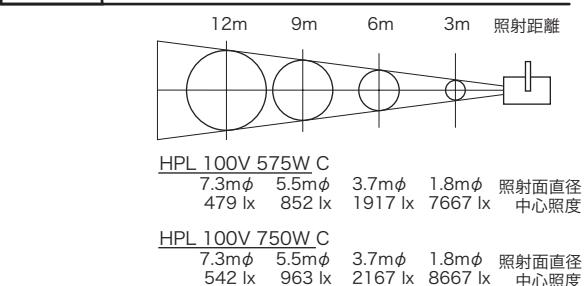
S4-419 【使用電球】HPL 100V 575W C
【使用電球】HPL 100V 750W C



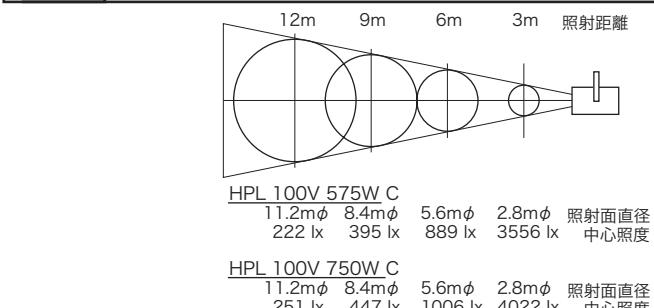
S4-426 【使用電球】HPL 100V 575W C
【使用電球】HPL 100V 750W C



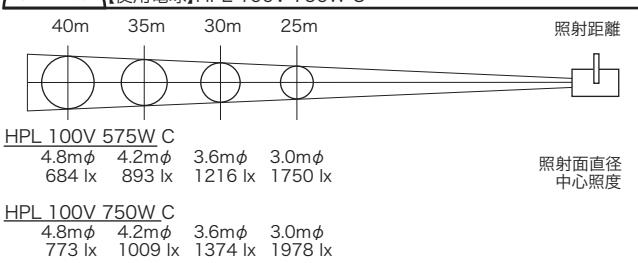
S4-436 【使用電球】HPL 100V 575W C
【使用電球】HPL 100V 750W C



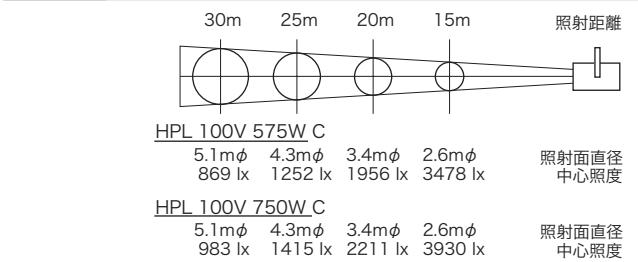
S4-450 【使用電球】HPL 100V 575W C
【使用電球】HPL 100V 750W C



S4-405 【使用電球】HPL 100V 575W C
【使用電球】HPL 100V 750W C



S4-410 【使用電球】HPL 100V 575W C
【使用電球】HPL 100V 750W C



《点検と修理》

■日常点検と整備のお奨め

お買い求めいただいた照明器具の性能を末長く維持し安全を確保するために、下記の日常点検項目に基づき、点検及び処置をしてください。

—— 日常点検項目および処置 ——

分類	点検項目	処置			修理依頼
		清掃	増締め	交換	
灯体	灯体、アーム、ダボに異常変形はないか。				○
	角度調整部の動作、ハンドルの締付けに異常はないか。				○
	脱落した部品はないか。				○
	フィルタホルダ枠に変形、歪み、などの損傷はないか。				○
	フィルタホルダ枠の押さえ金具に変形などの損傷はないか。				○
	安全シールド(保護網)に破損はないか。				○
	ズーム(ピント)調整部は円滑に動作するか。				○
	ネジ類に緩みはないか。		○		
※落下防止ワイヤ	灯体内に埃や紙吹雪はないか。	○			
	スナップフック受金具に歪みなどの損傷はないか。				○
	ワイヤにほつれ、リンクなどの損傷はないか。				○
	スナップフック、カラビナハーケンに伸びなどの損傷はないか。				○
レンズ	ダボにゆるみはないか。				○
	レンズは汚れていないか。	○			
	レンズに変色、ひび割れなどはないか。		○		
プラグ	レンズ押さえ用シリコンゴムなどに変色、亀裂はないか。				○
	変色、損傷はないか。			○	
	端子ネジの緩みはないか。		○		
電源ケーブル	端子ネジの着脱は良好か。			○	
	被覆に傷、変色、亀裂などはないか。				○
	内部配線				○
ソケット	変色、傷、焼損はないか。				○
	変色、酸化、焼損はないか。				○
	電球は確実に装着できるか。				○
電球	端子ネジの緩みはないか。		○		
	バルブにふくれ、黒化、変色はないか。			○	
	フィラメントのたれはないか。			○	
リフレクタ	口金部に損傷はないか。			○	
	リフレクタは汚れていないか。	○			
	傷、歪みなどの損傷はないか。			○	
カッター	カッター羽に歪み、錆び、軋みがないか。				○
	カッターのツマミに破損はないか。				○
絶縁抵抗	器具は漏電していないか。(絶縁抵抗5MΩ以上)				○

※落下防止ワイヤの修理は、ワイヤおよび金具の一式交換となります。

■定期点検のお奨め

- (1) 使用期間における経年変化または、ご使用の状況によっては消耗、劣化する部品や絶縁性能の低下がありますので、専門技術者による定期点検をお奨めします。
- (2) 定期点検(保守契約)については、弊社の支店ならびに営業所にお問い合わせください。

■修理

(1)修理の判断

- 上記日常点検項目に基づいて点検した結果、修理依頼の必要がある場合、及びその他の異常がある場合は、修理依頼をしてください。
- (2)修理は、弊社の支店ならびに営業所にお問い合わせください。

《仕様》

	S4-419	S4-426	S4-436	S4-450	S4-405	S4-410
電圧	AC 100V					
最高周囲温度	40°C					
最高表面温度	220°C					
使用角度範囲						
最小照射距離	0.9m			1.6m	0.4m	
最小離隔距離	0.2m					
照射角	19°	26°	36°	50°	5°	10°
灯 体	アルミダイカスト製 黒色耐熱塗装					
質 量	7.0kg	7.0kg	7.4kg	7.0kg	10.0kg	8.5kg
電源ケーブル	2PCNT 2mm ² 3C 1.5m C型20Aプラグ付					
フィルタホルダ	158mm×158mm			355mm×355mm	305mm×305mm	
パターン	Aサイズ, Bサイズ					
カッター	4枚カッター					
適合電球	HPL 100V 500W C,HPL 100V 575W C,HPL 100V 750W C					

《弊社連絡先》

警告表示・銘板が読みにくくなったり、はがれそうになったときは、すぐに貼り替えて修復してください。
また、商品のお問い合わせやアフターサービスは、最寄りのサービスセンター・支店等にご連絡ください。

東京サービスセンター TEL 03-3607-2166

サービスセンター フリーダイヤル 0120-092-714

記載の製品に関しては、改良の為、予告なく仕様変更を行うことがありますので予めご了承ください。

株式会社 松村電機製作所

本 社 〒113-0031 東京都文京区根津2-12-1 TEL03-3821-6169(代) FAX03-5685-3144

東京支店 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03-3821-6161(代) FAX03-3821-6186

関西支店 〒530-0043 大阪市北区天満2-12-1 6TEL06-6352-0245(代) FAX06-6352-2972

中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-28-12名古屋若宮ビル TEL052-265-1591(代) FAX052-265-1590

九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20NMF博多駅前ビル TEL092-451-3831(代) FAX092-451-3829

東北支店 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-6-2KJビルディング TEL022-221-7791(代) FAX022-267-6892

広島営業所 〒732-0052 広島市東区光町1-12-20もみじ広島光町ビル TEL082-569-8161(代) FAX082-569-8169

札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南三条西3-8-1エテルノビル TEL011-210-9561(代) FAX011-210-9562

沖縄営業所 〒900-0033 沖縄県那覇市久米1-15-1上山ビル TEL098-860-6377(代) FAX098-860-6392

盛岡営業所 〒020-0021 盛岡市中央通1-9-11CUBE映画館通りビル4階H号室 TEL019-656-1588(代) FAX019-656-1589

MVF(テレビ製劇) 〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17井門池之端ビル4階 TEL03-3821-6161(代) FAX03-3821-6186

サービスセンター 〒125-0052 東京都葛飾区柴又3-5-6 TEL03-3607-2166(代) FAX03-3627-2505

2026.01_1